

【付箋は使用時に削除】

- ・複数の学生で取り組んでいるときは、その学生全員の名前を書いて、発表者に○をつけてください。
- ・1.～4.の見出し・構成が使いにくい場合は、これらの内容を含むように適宜変更して使ってください。
- ・聴講者にわかりやすいよう、図表や概念図を積極的に活用してください（ポスターとの共通化も意識して）。

## タイトルはBIZ UDPゴシック体, 14P, 太字, 中央揃え

—サブタイトルがあるときはBIZ UDPゴシック体, 12P, 太字, 中央揃え(なければ削除)—

○習志野 泉, 実籾 太郎 指導教員: 津田沼 花子

(人間工学大学人間工学部)

### 1. 背景 ←MS明朝・12P・太字

一般的な論文で冒頭に配置される内容です。研究対象の製品やシステム、サービス、環境、管理・運用などにおいて、なぜこの研究が必要か、現状や問題点を述べてください。

全体を通して、最初の段落や改段落は「字下げ・1文字」のインデント設定で。用紙サイズ、上下左右のマージン、書体（MS 明朝+Times New Roman）、フォントサイズ（本文 11P）は守って下さい。

### 2. 従来の取り組み・課題・目的

1. の現状や問題点に対して、関連研究や実社会でこれまでどのようなことに取り組まれてきたか、現在の問題解決策はどうなっているのかなどについて述べてください。

次に、過去の研究や現在の対策で十分にできていない点を説明し、それを踏まえて、あなた方の卒業研究でどんなことに取り組めば『ちょっとだけ進歩して世の中や学術に貢献』できるのかを述べてください。つまり、「課題」（やるべきこと）について述べる部分です。

以上をまとめて、研究目的（本研究で何をを目指すか、独自の着眼点や工夫など）を述べてください。

図表の、大きさ・数、フォントサイズ、文書内レイアウト等は任意ですが、見づらくないよう気をつけてください

図1 図の説明

### 3. 実施内容と経過・結果

研究目的の達成に向けて、これまでに実施してきた研究経過や暫定的な結果を述べてください。例えば、実験・調査方法やUXデザインの検討、システム設計・構築内容、調査項目の作成、行動観察の項目整理、試作しているプロトタイプやデザイン、データ解析のトライアル状況など。すでに最終結果が出ていればその説明をお願いします。

単に事実だけではなく、本研究のアピールポイント（一番伝えたい主張、ポスターで注目してほしい点など）をしっかりと述べてください。アピールポイントには、実験デザイン・計測方法・質問紙の工夫、システム設計やサービスデザインの考え方、実験タスクや刺激材料のユニークさ、結果の可視化方法など、色々あると思います。

下位の見出しが必要な場合は、(1), (2), …の番号を適宜使ってください（他セクションも同様）。

表1 表の説明

図2 図の説明

### 4. 今後の予定

卒業研究の完了に向けて残課題や改善事項などの予定を述べてください。卒業研究としてまとめたときは「今後の展望」（見出しも適宜変更）を述べてください。

参考文献 ←参考文献リストはフォントサイズ10P, 略式で可, 掲載できても1～2編でしよう

1) 大須賀他. 座談会—ネットで語る人間工学の来し方行く先—. 人間工学. 2014, 50(1), p.1-10.

2) Dul, J.; Bruder, R.; et al. A strategy for human factors/ergonomics. Ergonomics. 2012, 55(4), p.377-395.

【付箋は使用時に削除】 出来上がったらPDFで提出（アップロード）。**フォントは埋め込みで。**

- ・MS-Word: 「名前をつけて保存」を選択→ファイルの種類「PDF」を選択→最適化は「標準」で保存。
- ・Adobe Acrobat: プリンターで「Adobe PDF」を選択→プリンターのプロパティ、PDF設定で「PDF/X-1a:2001（日本）」を選択→「システムのフォントのみ使用し、文書のフォントを使用しない」の**チェックを外して**PDFを作成。